腹膜透析カテーテル術(木曜日手術)を受けられる()さんへ

説明日(/ /) 説明者氏名()

STA02700070

月日(日時)	経過(病日等)	入院日	手術前日	手術当日(前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目～3日目	術後4日目～5日目	術後6日目～8日目	術後9日目～12日目	術後13日目～19日目	術後20日目～退院日
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術について理解できる 手術を受ける準備ができる 				<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓症の症状がない 血圧などの循環状態が安定している 痛みのコントロールができる 傷口の感染がない 手術後安静を守ることができる 				<ul style="list-style-type: none"> 腹膜透析について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 自己管理ができる 日常生活の注意点について理解できる 		<ul style="list-style-type: none"> 【退院基準】 腹膜透析における日常生活の注意点について理解できる
治療・薬剤(点滴・内服)	<ul style="list-style-type: none"> ★入院中は持参したお薬は飲まないでください 	<ul style="list-style-type: none"> おなかの毛を剃ります お腹の手術部位に医師が印をつけます 眼前に安定剤を内服します 排便状況について確認します 必要に応じて薬を飲んでいただきます 	<ul style="list-style-type: none"> ()時に朝の薬の飲みます 朝、病室で洗腸を行います 点滴をとります 手術着に着替えます 弾性ストッキングを履きます 手術室から呼び出しがあり次第4階の手術室まで歩いて行きます(ストレッチャーの場合もあります) 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みがある場合は痛み止めの点滴または内服薬を使います 手術後傷口はガーゼで保護します 酸素投与を行います チューブのキャップの交換を看護師が行います 				<ul style="list-style-type: none"> 抗生剤の点滴が終わり次第点滴の針を抜きます 	<ul style="list-style-type: none"> お腹に透析液を500ml注液して、洗浄後すぐに排液します 再度注液してお腹にためます 4日目:500ml注液、4時間貯留 5日目:1000ml注液、6時間貯留(お腹の張りがある場合看護師へお伝えください) 6日目:1500ml注液、8時間貯留 			
処置												
検査		鼻の中に菌がないか調べる検査を行います										
活動・安静度	制限はありません				翌朝までベッド上安静です	診察後にトイレまで歩くことができます 初回歩行の時は転倒に注意しましょう	診察後手術前の安静度に戻ります 転倒に注意して歩行してください					
安全		ベッド欄とナースコールを設置します 転倒予防のため、入院中は踵のある靴を履いてください		点滴をつないだ後は歩く際は転倒に注意しましょう	翌朝までベッド上安静のため転倒に注意しましょう			点滴をつないでいる間は転倒に注意しましょう				
食事	治療食がでます 入院中は間食を控えてください	()時から絶食です ()時から絶飲食です		先生がお腹の音を確認した後に水を飲むことができます	治療食を再開します 間食を控えてください							
清潔	入浴またはシャワー浴、身体拭きを行うことができます お腹の毛を剃ります	清潔操作(手洗い方法)の確認を行います 身体を清潔にし髪を洗ってください 爪切りもしましょう		身体拭きを行います					術後7日目～診察後傷口を覆いシャワーを開始します 浴槽への入浴は控えてください(傷口は看護師がガーゼで覆います)		傷口のガーゼをとってシャワーを開始します 浴槽への入浴は控えてください シャワーを行う際に出口部洗浄を行ってください(初回は看護師が説明を行います)	
排泄	制限はありません		手術後は翌朝までベッド上安静のため尿管カテーテルを入れる場合があります	尿管カテーテルまたは尿器でトイレを行います	安静解除後尿管カテーテルを抜きます 以降はトイレの制限はありません							
患者様及びご家族への説明生活指導リハビリ栄養指導服薬指導	看護師が入院の説明やバスの流れ、手術と退院後に必要な物品の説明を行います 自宅環境や生活状況についてお尋ねします 腹膜透析のパンプレットをお渡しします 薬剤師から持参薬の確認説明を行います	手術に必要な物品の確認を行います 麻酔科医師の訪問があります 手術室の看護師の訪問があります 弾性ストッキングの計測をします	ご家族は家族待合室またはデイルームで手術が終わるまで待機となります	医師から手術の経過について説明があります 不明な点があればお尋ねください	<ul style="list-style-type: none"> ～腹膜透析について～ 腹膜透析の機械の使い方、バッグの交換方法の説明を行い、練習を行います 			5日目～腹膜透析の記録方法の説明をします		9日目～退院後の生活の説明をします 10日目～緊急時対応について説明をします	出口部の洗浄方法についてシャワー前に動画と資料を用いて説明をします 付け替えセットをお渡します	手術から約2週間～3週間ほどで退院となります 医師の許可があれば退院となります 退院前にケア会議を行います 薬剤師から退院後の薬について説明を行います
		手術2日前～ ・腹膜透析の機械の使い方、バッグの交換方法の説明を行い、練習を行います ・手洗いの方法を確認します									<ul style="list-style-type: none"> ①感染に注意しましょう ②毎日出口部と排液の観察を行いましょう ※出口部に痛みがある場合や排液の濁りなど異常がある場合 	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。